

轟 と ど ろ

平成22年 5月26日

5月号

学力が年々あがっています

本校は、大変嬉しいことに子ども達の学力が年々上がってきています。具体的に言いますと、昨年度末の全国標準テスト結果では、全国を50.0とすると、国語55.0、算数56.2と大きく上回っています。これは各家庭のご協力のお陰であり、子ども達と先生方の頑張りがあったからこそです。ぜひ子ども達が頑張っている時は、みんなでいっぱいほめて欲しいと思います。それが自信につながり持っている力を伸ばしていく活力源となります。

平家の里春祭りで神楽演舞



3日(月)に五家荘の観光施設「平家の里」で春祭りが開催されました。遠路、熊本県外からもたくさんの観光客の方がお見えになり、神秘的なアトラクションに感動されていました。八小の子ども神楽は勿論のこと縦木婦人会の舞踊・神楽保存会員の舞い・久連子の太鼓踊りそして今年は、人吉高校ギターマンドリンクラブによる演奏が次々と披露され、たくさんの拍手が送られました。さわやかな新緑につつまれ、空は晴れ渡り、今年も最高の春祭りとなりました。無料のシシ汁も本当にうまかったですね。

子どもが考えた「五家荘カルタ」遊び

5・6年生は、総合的な学習の時間に「ふるさと五家荘」の学習をしています。インターネット等を利用して、自分たちの力で五家荘カルタを作って、八小タイムで下級生にカルタ遊びを教えました。先生たちも問題文が終わるまで動けない特別ルールで参加したのですが、カードを殆ど子ども達に取られてしまいました。



人権標語が完成！

正しい人権感覚を育てるため今年も全員で人権標語に取り組みました。誰一人いやな思いをしない・させないようにしたいものです。
○ ともだち いっぱいつくって ランランラン たのしくあそぼうよ
○ 「助けて」の その一言で かわるかも (拓海) (愛美)
○ 助けよう 勇気を出して 立ち向かえ (友唯)

校長コラム

本年度の教育スローガンを「こだわって大好きいっぱい五家荘」に設定しています。運命的に五家荘に生まれ育った本校の子ども達が、どんな場面でも胸張って堂々と生きていける力を身につけさせたい。そのためには、授業で徹底した学力向上に努め、始めに報告したような具体的な数値に基づく結果を出していきます。また本校の子どもに地域の方を先生にして、ふるさと五家荘の素晴らしさを直接教えていただく機会をたくさん設けて五家荘を自慢する・誇りに思う子どもに育てていきます。五家荘にこだわって知る・関わる・表現する活動をすることで、子どもに自信をみなぎらせ、小さなことには動じないような取組を一層進めます。よって、もっと地域にお住まいの皆さんと子ども達が直接関わり合う場を増やしたいと考えています。人と関わりの中で、自分からの挨拶そして自分からの声かけ・ていねいな言葉づかいは、一番大切であることを体で感じて欲しいのです。学校では、誰であろうと遠くに人を見かけたら大きな声で挨拶、そして近くで出会ったら再度、止まって・目を見て・ハツラツと挨拶を自分からするよう子ども達に指導しています。親しき仲の礼儀が第一歩です。運動場や教室のベランダで観光客の車を見かけたら、積極的にしっかり手を振って、おもてなしの心を体で表現するようにしています。もし子ども達の良いところを見かけられたら、その場でいっぱいほめていただけると嬉しいです。ふるさと五家荘の人・文化・自然にこだわって、何でも知って・体験させてから本校を卒業させたいと強く願っています。

親子で遠足そして潮干狩り



15日(土)は、泉第八小学校恒例の親子遠足と貝掘りでした。二見漁協には午後3時が最干潮にも関わらず、開放最終日もあってか各地から大勢のお客で賑わいました。子ども達も次々に大きな貝を掘り上げていました。全員が配られたカゴいっぱいになるまでアサリ貝を採り、疲れはしたものの大満足の表情でした。

新型インフルエンザの予防を忘れないで！

昨年、全国的に大流行した新型インフルエンザは現在、本校では発生していません。去年の5月頃は不安いっぱいでしたが、幸い八小では予防効果もあって一人も罹患しませんでした。今年も学校と家庭で連携して予防措置を徹底しましょう。

第1回集合学習を第二小学校で開催

25日(火)に泉町内の全小学生が泉第二小学校に集まって集合学習を開催しました。男子47名、女子50名の97名の子ども達が同学年の子ども達と一緒に仲良く勉強をしました。授業は、先生方が入れ替わりながらTT方式で行いました。いろんな友達や先生方に接する良い機会になりました。



高木さんの講話「五家荘に嫁いで」

12日(火)には、地域にお住まいの高木いく子さんに「五家荘に嫁いで」というお話しをしていただきました。娘時代から嫁ぐまでの思い出や全てが手作りで頑張ってきたこと。気持ちが落ち込んだ時のわが子の短冊に書かれた一行詩に救われたこと。素晴らしい五家荘の自然の変化にもっと気づいて欲しいこと。ぜひ五家荘に帰ってきて欲しいことなど多くを学びました。お礼状は、子ども達が自宅に直接届けて感謝の心を伝えました。

